

藤枝市制50周年記念事業

第17回 定期演奏会

Shida Mandolin Guitar Ensemble

志太マンドリン・ギターアンサンブル



2004年11月28日(日)

藤枝市民会館ホール

開場/13:30 開演/14:00

[主催] 志太マンドリン・ギターアンサンブル
<http://www.fsinet.or.jp/~tanpopo/sidaman/top.htm>

[後援] 藤枝市教育委員会・焼津市教育委員会
大井川町教育委員会・岡部町教育委員会

Program

第一部

マンドリンオリジナル

ローレイ・パラフレーズ

初秋の唄

山岳写景

第一楽章「山々のこだま」

第二楽章「牧人の愛の歌」

第三楽章「黄昏に（牧歌）」

第四楽章「ロンド・終曲」

S.Ranieri

桑原康雄

L.Mellana-vogt

***** 休憩 *****

第二部

永遠のスタンダード

編曲 長谷川淳一

♪日本のフォーク・ポップス

白いブランコ

誰もいない海

学生街の喫茶店

五番街のマリーへ

(ピリー・バンパン)

(トワ・エ・モア)

(ガロ)

(ペドロ&カプリシャス)

♪ジャズ・ボサノヴァ

Stardust

My Foolish Heart

Wave

Hoagy Carmichael

Victor Young

Antonio Carlos Jobim

♪古賀政男・生誕100年

古賀政男メドレー

(東京ラブソディ：目も無い千鳥：人生劇場：二人は若い：悲しい酒：
人生の並木路：芸者ワルツ：柔)

■ ごあいさつ ■

志太マンドリン・ギターアンサンブル部長 鷲山美知子

本日はお忙しい中、第17回定期演奏会にご来場いただき、誠に有り難うございます。私達がこうして活動出来ますのも、皆様の暖かいご支援の賜物と心から感謝しております。今年は藤枝市制50周年という記念すべき年です。そのお祝いの催し物として参加させていただけますことを、大変うれしく思っております。

私達のクラブは1987年2月、藤枝市在住者を中心に15名で活動を開始し、広幡公民館のマンドリン教室を母体としてその後「藤枝マンドリンクラブ」として発足しました。第10回の定期演奏会の折、メンバーの居住や活動範囲が広がったため、志太マンドリン・ギターアンサンブルと改名しました。

活動としては、定期演奏会の他に病院、老人ホームなどへの慰問演奏、市民文化祭への参加、皆様に、より身近に演奏を聴いていただいたり、楽器に触れていただくサロンコンサートを開催しています。また県内のマンドリンクラブとの交流を深めるマンドリンフェスティバルにも参加しています。お声がかかれば、結婚式などでも演奏します。

「音楽は人と人とを結ぶもの」というベートーベンの言葉のように、私達演奏者と聴いて下さる皆様の心が結ばれますよう、未熟ではありますが、精一杯演奏致しますので、どうぞ、最後までごゆっくりお聴き下さい。

私達は、これからも演奏で少しでも地域に貢献出来ますよう、より一層の努力をしてみたいので、ご支援の程をお願い致します。

最後に、これからの藤枝市の発展を心より祈っております。

** この一年の歩み **

2003	12/16	クリスマスコンサート	藤枝市立総合病院
	1/25	出張演奏	藤枝文化センター
	2/15	慰問演奏	榛原町坂部
	2/21	社会学級・出張演奏	焼津公民館
	4/11	静岡県マンドリンフェスティバル	焼津市文化センター
	5/23	常盤学園記念式典・出張演奏	常盤学園西町幼稚園
	7/ 1	ファミリーコンサート	藤枝市生涯学習センター
	10/30	藤枝市民文化祭	藤枝市民会館
	11/ 8	甲賀病院（焼津市）・文化祭	甲賀病院
	11/28	第17回定期演奏会	藤枝市民会館
2005	1/15	大井川中学校・家庭教育学級	ミュージコ

志太マン コンサート情報

2005年4月17日(日) 第5回サロンコンサート 14時開演 藤枝市生涯学習センター

■ 曲目解説 ■

一部

● ローレライ・バラフレーズ

ライン川ローレライ伝説を元に、ハイネが詠んだ詩に、ジルヒャーがメロディーをつけました。このメロディーを元にネスバドバが作曲し、マンドリニストであったシルヴィオ・ラニエリがマンドリンオーケストラ用に編曲したもので、次から次へと主題が展開していきます。バラフレーズとは、既存の楽曲またはその一部のメロディーを元に、新たな装飾をしたり改変したりして、一個の独立した楽曲にしたものです。日本でも近藤朔風の「なじかは知らねど心わびて・・・」という訳詞で、古くから人々に親しまれています。

● 初秋の唄

日本の初秋の情景を描写し、人と自然の共生がテーマになっています。ギターによる雨だれをシンボル化した描写に始まり、やがて秋の収穫をささげる野分けがやってきます。嵐が取まると一人の農民が収穫祭のための歌をうたい始め、やがて周りの人々にもはっきり聞こえるようになります。

マンドリン音楽を愛し研究した国際的マンドリニスト・作曲家、桑原康雄の代表作。(2003年急逝)

● 山岳写景

美しいアルプスの一日の情景を描いた組曲で、四つの楽章からなります。

作者は、今世紀初期のマンドリン界を発展させた功労者です。彼の魅力は美しい旋律にあります。

第一章「山々のこだま」

アルプスのすがすがしい夜明けに、アルペンホルンの響きが羊たちの眠りをさます。

第二章「牧人の愛の歌」

暖かい日差しの中、牧人は、なだらかな丘で羊を追いながら愛の唄を口ずさみます。

軽快なスケルツォ。

第三章「黄昏に（牧歌）」

黄昏が近づいてきて沈みゆく太陽に山々は赤く染まり、牧人の影は深い谷間に落ちていきます。

第四章「ロンド・終曲」

家路に向かう足取りも軽く、自然と歩く速さも増してきます。素晴らしいアルプスのフィナーレです。または、山の村祭りの様子を描いているとの説もあります。

二部

● 白いブランコ 君はおぼえているかしら あの白いブランコ 風に吹かれて二人でゆれた・・・

兄弟デュオ、ピリーバンバン（菅原孝・菅原進）が、師匠浜口庫之助の庭先のブランコでつくられた「白いブランコ」で1969年（昭和44年）レコードデビュー。大ヒットとなりました。

1976年に解散するまでに「ミドリバナ」「れんげ草」「さよならをするために（TV「3丁目4番地」主題歌）のヒット曲を送り出しています。

昭和44年・日本のヒット曲

「風（はしだのりひことシューベルツ）」・「長崎は今日も雨だった」（内山田洋とクールファイブ）」・「黒ネコのタンゴ」（皆川おさむ）」・「港町ブルース」（森進一）

昭和44年の世相

アポロ11号月面着陸・東名高速道路全通・東大安田講堂落城・夏の高校野球決勝戦「三沢高（青森）・松山商（愛媛）」延長18回引き分け再試合

● 誰もいない海 今はもう秋 誰もいない海 知らん顔して 人がゆき過ぎても 私は・・・

1969年、「ある日突然」でデビューしたトワ・エ・モア（山室英美子・芥川澄夫）が、1970年（昭和45年）に出したヒット曲です。同年、競作としてシャンソン歌手・越路吹雪が発表しています。作曲者の内藤法美と越路吹雪はおしどり夫婦として知られています。最初の発表は「木島則夫モーニングショー」の挿入歌として、ジェリー伊藤が歌ったものです。

昭和45年・日本のヒット曲

「今日でお別れ」（菅原洋一）・「笑って許して」（和田アキ子）・「走れコートを」（ソルティ・シュガー）・「知床旅情（加藤登紀子）」・「花嫁（はしだのりひことクライマックス）」

昭和45年の世相

大阪で万博開催・日本赤軍よど号機乗っ取り事件・光化学スモッグ発生・歩行者天国

●**学生街の喫茶店** 君とよくこの店に来たものさ わけもなくお茶を飲み話したよ・・

「クロスビー・ステイルス・ナッシュ&ヤング」の音楽をベースにして、トミー・マーク・ボーカルの三人がガロを結成。主張し合う三人の洗練された美しいハーモニー、独特の響きを持ったギターサウンド。透明感があり神秘的、かつエネルギッシュな世界を創ったガロが1972年に大ヒットさせた曲です。他に「一人で行くさ」「四つ葉のクローバー」「涙はいらない」マンドリンが使われている「ロマンス」などの曲があります。

昭和47年・日本のヒット曲

この広い野原いっぱい(森山良子)・せんせい(森昌子)・男の子女の子(郷ひろみ)・結婚しようよ(吉田拓郎)・瀬戸の花嫁(小柳ミ子)・鳴采(ちあきなおみ)

昭和47年の世相

沖縄返還・日中国交正常化・浅間山荘事件・札幌冬季オリンピック・パンダブーム
新日本フィルハーモニー交響楽団結成、指揮者に小澤征爾

●**五番街のマリーへ** 五番街へ行ったら マリーの家へ行き どんなくらししてるのか・・

ペドロ・梅村を中心にラテンをベースとしたグループ、ペドロ&カプリシャスが、前野曜子を女性ヴォーカルに、1972年「別れの朝」でデビューしました。翌年、2代目ヴォーカリスト高橋まり(現・高橋真梨子)に代わり、「ジョニーへの伝言」「五番街のマリーへ」とヒットを続けました。当時のヒットメーカー阿久悠・都倉俊一コンビが作詞・作曲しています。

昭和48年・日本のヒット曲

わたしの彼は左きき(麻丘めぐみ)・神田川(南こうせつとかぐや姫)・夢の中へ(井上陽水)・夜空(五木ひろし)・てんとう虫のサンバ(チェリッシュ)・あなた(小坂明子)

昭和48年の世相

石油ショックの中、トイレトベーパー買占め騒動・江崎玲於奈ノーベル物理学賞受賞・金大中事件・大洋デパート火災・ハイセイコー人気・国鉄中央線にシルバーシート登場

●**スターダスト 星屑(ほしくず)** And now purple dusk of twilight time・・

ホーギー・カーマイケル、1927年の曲です。弁護士になったものの音楽の夢は断ちがたく、故郷に戻り母校の庭で夜、星空を仰ぎながら、かつての恋人を思い出して作った曲と言われています。1929年ミッチェル・バリッシュにより歌詞がつけられました。数多くの名演が残されています。日本のバラエティー番組「シャボン玉ホリデー」のエンディングテーマで流れていました。カーマイケルの他の作品では「ジョージア・オン・マインド(我が心のジョージア)」が知られています。

●**マイ・フリーッシュ・ハート 愚かなり我が心** The night is like a lovely tune・・

映画音楽を300本以上書いたビクター・ヤングによって作曲されました。この曲は、映画「愚かなり我が心」(1950年)の主題曲です。ビル・エヴァンス・トリオ(不朽のライブ盤「Waltz for Debby」に取められている)が名演を残しています。ビクター・ヤングは他に、遙かなる山の呼び声(「シェーン」)・ジャニー・ギター(「大砂塵」)・アラウンド・ザ・ワールド(「80日間世界一周」)といった映画音楽を作曲しています。

●**ウェイヴ 波** Vou te contar os olhos ja nao podem ver・・

ボサノヴァを創った男といわれるアントニオ・カルロス・ジョビンの作曲(1967年)です。アメリカに進出した彼が故郷リオデジャネイロ(ブラジル)をイメージして作った曲といわれています。ジョビン自身が演奏しているアルバム「Wave」に取められています。ジョビンの主な作品に「イパネマの娘」「コルコヴァード」「ワン・ノート・サンバ」「おいしい水」などがあります。

●**古賀政男メドレー** 東京ラブソディ / 目無し千鳥 / 人生劇場 / 二人は若い / 悲しい酒 / 人生の並木路 / 芸者ワルツ / 柔

古賀政男は明治37年(1904年)11月18日、福岡県大川市に生まれました。2004年11月18日で生誕100年になります。幼くして父を亡くし母の手で育てられた古賀少年は、貧しい中、朝鮮半島(韓国)に渡り、そこで心に響く哀愁を帯びた韓国民謡を聞いて暮らしています。これが後の古賀メロディーの源流になったといわれています。帰国後、苦学して明治大学に入学しマンドリン倶楽部を創設、1930年、大学在学中のマンドリン倶楽部演奏会で、作詞・作曲した「影を慕いて」を発表。好評を得て、レコードを出しました。古賀メロディーの誕生です。[哀愁][寂しさ]だけでなく「二人は若い」や「丘を越えて」のように[明るさ]をテーマにした名曲も数多く残しています。

★ ステージメンバー ★

指揮
司会

石川 伸行 (第一部)
安達由美子

長谷川淳一 (第二部)
山口 弘三 (特別友情出演)

1st mandolin ★

◎鷺山 正二
村松 美雪
高宮五百子
*小島寿摩子
*山内 豊彦

Mandola Tenor ★

◎増井 綾子
松本はる江
鈴木 和美
堀江 典子
*野崎 浩孝

Guitar ★

◎服部 誠
長谷川雅美
山口 明子
飯塚 正巳
水元 雅弘
中谷 秀治
木ノ内紀子
村松 信子

2nd mandolin ★

◎鷺山美知子
中村 敏子
渋谷 一子
園田美穂子
内川多都子
大石 早苗
*山内 実代

Mandolincello ★

◎米村 文子
*藤田 伸

Contrabass ★

◎石川 伸行
*長谷川淳一

Mandolone ★

*畑 恭介

Percussion ★

*渋谷裕紀子

Flute ★

*渡辺 克広

◎パートリーダー *賛助者

♪ 志太マンからのお知らせ ♪

♪ 部員募集 (全パート)

経験者でも未経験者でも大歓迎です。随時募集中しています。
音楽が好き！な方お待ちしております。

練習時間 ★毎週木曜日 19:30~21:30
練習場所 ★藤枝市生涯学習センター

♪ マンドリン募集 (いつからでも参加できます)

練習時間 ★毎週木曜日 19:30~21:30
練習場所 ★藤枝市生涯学習センター

♪ 出張演奏いたします。

問い合わせ先 TEL 054-643-7586 (わしやま)
mail: EZE04156@nifty.com

志太マンホームページ <http://www.fsinet.or.jp/~tanpopo/sidaman/top.htm>

運営協力：藤枝市民吹奏楽団 Charming Brass